

令和5年度神戸市各会計決算及び関連議案に関する

各会派の意見表明

〔自由民主党〕

自由民主党神戸市会議員団・無所属の会は、令和5年度神戸市各会計決算、及び関連議案合計24件を下記理由及び要望20件を付して、認定並びに承認致します。

理由

令和5年度決算は、東京一極集中や都市間競争がますます激化する中において、SDGsの視点に基づいた施策を積極的に展開し、暮らしの質とまちの魅力を高め、教育の充実、切れ目のない子育て支援や都市の成長を促し、好循環を創出するための施策、神戸空港の国際化に向けた取り組みなど街づくりを進めようとする姿勢を評価致します。

また、社会保障関係費が増加した一方で、景気回復による個人・法人市民税の増や「行財政改革方針2025」に基づく取り組みを進めたことなどにより、25年連続で黒字を確保したことは評価致します。

しかしながら超高齢社会の進展に伴い、経済規模の縮小や市税収入の減少が懸念され、社会保障関係費のさらなる増加や、経済社会情勢にともなう原油価格・物価高騰などに対して、市民の所得を実質的に向上させる必要があります。神戸経済活性化には、神戸に人を惹きつけるために投資的経費を確保し続けることが至上命題です。都市の活力を向上させるために、定住人口はもとより交流人口・関係人口を増加させる取り組みを更に加速させ市民が未来に希望を抱き、海外を含めた市外からも民間投資を促すための施策を一層強めていく必要があります。

引き続き少子高齢化にともない増加し続ける義務的経費に対応し、安定的な財政基盤を構築するためにも「行財政改革方針2025」及び我が会派から提言した事項に全力で取り組み、神戸経済の成長や需要の拡大に向け、様々な施策を積極的に実施していくことを期待して決算を認定致します。

要望事項

1. 神戸空港国際化にともない、市内経済への効果が最大化するよう施策を展開すること。
2. スタートアップ支援については、市内に雇用が生まれることを最重要要件と定義した上で、施策をさらに推進すること。
3. 理工系人材の市内定着のために、神戸医療産業都市を含めた市内企業において、ジョブ型インターンシップに取り組むこと。
4. こども本位のKOBED◆KATSUとなるように予算と人員を確保すること。

5. K O B E ◆ K A T S U の開始にともない、市民の文化・スポーツ活動が一層活性化するように取り組むこと。
6. 若手芸術家育成のために、市民の目にふれる場への芸術作品の展示機会を強化すること。
7. 民間の保育・教育施設のさらなる人材確保・定着支援に取り組むこと。
8. 学童保育については、市内の大学生や専門学生に参画を依頼し、単位認定されるジョブ型インターンシップの導入、過密学童の解消、夏休みの昼食提供、英語保育の充実に取り組むこと。
9. 「すこやか保育」において保護者の同意なくとも加配認定ができるよう制度変更を進めること。
10. 放課後等デイサービスの送迎車両の駐車スペースを学校周辺に確保すること。
11. 市内経済の発展及び渋滞による経済損失を解消するため、幹線道路の渋滞対策に一層の力を入れること。
12. 大規模災害に対応できる時代に沿った通信環境の整備を行うこと。
13. 朝鮮学校への補助金は兵庫県に追従することなく廃止し、令和7年度予算では計上しないこと。
14. オーガニック給食の実施に向けて有機農業の担い手を育成すること。
15. 「竹害」を「竹財」に変える取り組みをさらに推進すること。
16. カラスやハトへの餌やりを禁止する罰則規定付きの条例を制定すること。
17. 路上喫煙禁止地区内での喫煙所確保と、公園内に禁煙看板の設置を進めること。また喫煙所の維持管理のための助成制度を創設すること。
18. 市街地消防団の車両更新について、公費の投入を検討すること。
19. ケアマネジャーの負担軽減と福祉職の処遇改善に努めること。
20. 高齢者人口の増加にともなう救急需要に対応するため、民間の救急搬送を活用する仕組みを構築すること。

【日本維新の会】

日本維新の会神戸市会議員団は、令和5年度神戸市各会計決算及び関連議案について、要望17件を付して認定・承認します。

要望事項

1. 非常勤の市行政委員報酬については、市民に理解される制度とするため、勤務実態と報酬のあり方について検討する、有識者等で構成される外部委員会を早急に設置すること。
2. 日々進化するサイバー攻撃に迅速かつ的確に対応するためにも、サイバーセキュリティ対策を継続して実施すること。
3. 外国人や女性の視点をより積極的に取り入れた、防災訓練や避難所の開設・運営訓練を実施すること。

4. 神戸市役所内におけるDX推進のため、必要な知識・スキルを有する人材を業務内容や役職に応じて計画的に育成していくこと。また、コンプライアンス上の問題やヒューマンエラーによるミスなどに対する、チェックシステムとしてのAIの活用について検討・実施すること。
5. マイナ保険証の趣旨・目的を周知し、利用促進に取り組むこと。
6. 優秀で意欲溢れる神戸市職員の人材確保のためにも、庁内でのスキルアップ体制の強化や官民間での人材の流動化を図り、さらには職員が一丸となれる具体的な数値目標の設定を行うこと。
7. 本市において「共生社会の実現」を目的とする世界パラ陸上競技選手権大会が開催されたのにもかかわらず、一向に進まない公共交通機関のバリアフリー化を加速度的に進めていくこと。
8. DV（ドメスティック・バイオレンス）や児童虐待における被害者支援の一環として、加害者プログラムを推進すること。
9. 大阪・関西万博の機会を捉え、インバウンド客の誘致のみならず、教育旅行の積極的な誘致を行うこと。併せて、開催終了後も神戸経済に寄与する中長期的なビジネス展開を図り、持続的な市内経済の成長・発展に繋げていくこと。
10. 緑化整備に当たっては、防災や暑熱対策等、自然環境が有する多様な機能を活用するという「グリーンインフラ」の概念を導入すると同時に、三宮・元町周辺の都心部のみの整備に限定するのではなく、より住民に寄り添った計画を策定及び推進すること。
11. 神戸の魅力の一つである登山を、ウェルビーイングの観点からも積極的に広報すること。併せて登山道の再整備を進めるとともに、携帯電話やフリーWi-Fiなど通信環境の改善に取り組むこと。
12. マンション解体工事に伴う公費の支出を防ぐためにも、マンション管理状況の届出制度における届出率を100%に近づけるための具体的な施策を示し実行すること。
13. 持続可能な上下水道の機能を確保するべく、ウォーターPPP導入や上下水道一体化、広域化を図り、事業の効率化・高度化・基盤強化の取り組みを推進すること。
14. 交通事業全体の多大な時間外勤務の見直し、職場環境の改善、健康管理体制等、適正な職場環境整備に努めること。またバス事業においては、各路線の営業係数などを分析の上、改善目標数値の設定を行い、赤字解消に努めると同時に、適切な運行計画を策定すること。
15. 教育格差及び体験格差を是正するべく、教育バウチャー制度を導入の上、KOBEDiamondKATSUやフリースクール等もその対象とすること。
16. KOBEDiamondKATSUについては円滑に推進するべく、地域の受け入れ体制や人員・場所の確保、会費制による家庭負担増への対策を部局間の連携を強化しながら早急に解決し、これを地域課題解決の機会と捉え、生徒が不公平なく安心して部活動に打ち込める環境を整えること。
17. 自由進度学習などの、「Society 5.0」時代に向けて求められる教育を本市でも実施すること。

[公明党]

公明党神戸市議員団は、令和5年度一般会計決算、特別会計決算及び企業会計決算に対し、下記の理由と要望10件を付し認定します。なお、関連議案については承認いたします。

理由

令和5年度決算は、3年連続して財源対策によることなく、一般会計で実質収支15億1,400万円の黒字を計上し、企業会計においても単年度損益合計が昨年から減少したものの63億円の黒字となったことは、当局の努力を評価します。加えて、公明党がこの決算議会で提案したマンションの管理状況の届出を義務化する条例について、制定に向けて具体的な検討をすると表明されたことも評価します。

今後、本市の財政状況は、社会保障関係のさらなる増加や、長引く物価高騰、気候変動による自然災害の増加などにより一層厳しくなると予測されています。その中で、財政の健全性を保ちつつ、まず市民の家計を圧迫している物価高対策に取り組み、将来にわたり持続的な発展を遂げるために、まちの魅力と活力を高める施策を積極的に展開していくことに期待し、以下の要望事項を添えて令和5年度決算を認定するとともに、関連議案を承認いたします。

要望事項

1. プレミアム付商品券の発行を検討すること。
2. 物価高などの昨今の状況を鑑み神戸市フードバンク活動支援助成金制度の上限を拡充すること。
3. おくやみコーナーのワンストップ化を実現するために、プロジェクトチームでの議論を進めるとともに、実証実験にも取り組み議論を加速させること。
4. 女性の就業率を高めるために、女性が働きやすい職場環境の整備等を行う事業者に対し補助金制度などの支援を検討すること。
5. 市内の子宮頸がん検診受診率向上に向けた取り組みとしてHPV自己採取検査キットの導入を検討すること。
6. 外部給電神戸モデルで活用できる、災害停電時に充電が可能な施設を増やすこと。
7. 災害時の電力確保として公共施設における太陽光発電の設置可能性調査が行われているが、気象状況により太陽光の発電量が左右されないよう、充電設備を設置すること。
8. 電気バスの導入について、異常高温対策として停車時でも空調を動かせること、災害時での大型蓄電池としての活用が見込めることなどから、積極的に取り組むこと。
9. 防犯カメラについては地下道や高架下にも効果的に設置すること。
10. 横断歩道のカラー化については区の偏りがないようにすること。

[日本共産党]

2023 年度神戸市各会計決算のうち、決算第 1 号、決算第 2 号、決算第 4 号、決算第 7 号から決算第 12 号、決算第 14 号から決算第 19 号の合計 15 議案に関しては認定できません。

決算関連議案のうち、第 54 号議案と第 55 号議案の 2 議案については承認できません。

決算第 3 号、決算第 5 号、決算第 6 号、決算第 13 号、決算第 20 号の合計 5 議案については認定いたします。

決算関連議案のうち、第 56 号議案、第 57 号議案の 2 議案については承認いたします。

以下、反対の理由を申し上げます。

第 1 の理由は、都心・三宮や神戸空港などの大型開発を進めながら、郊外地域の切り捨てをすすめているからです。

建設費の高騰で多くの事業が遅滞するもと、都心・三宮の再開発や、神戸空港国際化などは聖域化し莫大な投資を続けています。

拠点駅再開発では高層マンションを誘致し、市営住宅を減らす P F I 事業では民間住宅の新築誘致を進める一方、郊外の低層団地への更新支援が皆無に等しい実態です。

国の進める都心集中・郊外切り捨ての都市再生政策への追随をやめて、バス路線の縮小や商業施設の撤退で困難をかかえる郊外地域への支援こそ求められます。

第 2 の理由は、インバウンド・外需頼みに施策を偏重させ、市民のくらしと営業を応援する姿勢が欠けているからです。

「ローカル・アベノミクス」によって、地方自治体に「稼ぐ力」と「都市間競争」が押し付けられるもと、公共空間と公共施設の縮小、民間施設への提供が進められています。

神戸市でも、大学誘致ありきの王子公園再整備や、スマスイの廃止、みなと緑地 P P P、駅前と庁舎の再整備で、公園・緑地・海岸・文化施設が、住民不在で縮小廃止されています。

家計・内需を犠牲にする外需頼みの大型プロジェクトは中止し、市民のくらしや中小事業者への支援、農林漁業の振興などの地域経済応援こそ最優先で取り組むべきです。

第 3 の理由は、新自由主義的な「受益者負担」政策で、公共の役割を後退させ、市民には負担を押しつけているからです。

物価高騰、実質賃金の低下、年金引下げなど市民の暮らしが大変な中、「受益者負担」を押し付け、水道料金、市バス運賃の値上げ、国保や介護の負担増を強行しています。

その一方、子どもの医療費や学校給食の無償化など、市民の願いには背を向けたままです。

税や社会保障の所得再分配機能によって生活の安定をはかる役割を投げ捨て、消費税増税を強行する政府に付き従うような姿勢は、改めるべきです。

第 4 の理由は、コロナ禍や震災の教訓を生かさず、職員削減と非正規化で公務労働の基盤を壊しているからです。

神戸市が、職員削減と非正規や無資格者への置き換えを加速させた結果、教育・保育・介護・福祉の現場で、過重労働と低賃金が慢性的な人員不足を生み、教育委員会で産業医がともに配置されないもと、職員の過労自死事案も起きています。

新型感染症対策や能登半島地震は、改めて職員体制の重要性を浮き彫りにしました。

公務員を半減させるとした国の「自治体戦略 2040 構想」に付き従うのではなく、住民生活を支える公務労働の基盤整備こそ行うべきです。

第5の理由は、気候危機打開や大規模災害への備え、ジェンダー平等実現に対する取り組みが極めて弱いからです。

廃棄物の焼却中心主義や、神鋼石炭火力発電の容認・推進、褐炭由来の水素エネルギーの利用促進では、カーボンニュートラルの実現には遠く及びません。

阪神・淡路大震災から30年を経ようとしているもと、スフィア基準にも対応した避難所の居住環境改善や備蓄の確保も、遅々として進んでいません。

ライフパートナーの制度でも、同性婚と同程度とは程遠い運用です。

震災を経験し、国際都市を標榜する神戸こそ、気候危機打開やジェンダー平等の分野でリーダーシップをとるべきです。

【こうべ未来】

こうべ未来市会議員団は、令和5年度神戸市各会計決算並びに関連議案合計24議案について、以下、要望18件を付して原案のとおり認定・承認します。

理由

令和5年度の一般会計決算は、個人・法人市民税の増加に加え、行財政改革の取り組みにより、財源対策によることなく実質収支15億1,400万円の黒字を確保したことを評価いたします。一方で、超高齢社会に対応した社会保障関係費の増加に留意していく必要があること、コロナ禍を経た生活変容の影響が企業会計にも影を落としていることについては注視しているところです。

神戸市は、人口減少時代にふさわしいまちづくりを進めていくことが重要であり、市民が暮らしやすさを実感し、神戸のまちが元気になっていく施策を進める取り組みに期待します。

要望事項

1. 防災分野における男女共同参画の取り組みを充実させ、災害対応力を強化されたい。
2. 防災士資格取得の助成制度を新設し、地域防災力強化を図られたい。
3. 行政データを利活用しているEBPMについて、セキュリティ対策を講じられたい。
4. 都市政策研究の推進を担うシンクタンクのあり方について検討されたい。
5. 地域福祉センター新方針導入に関しては、今までの取り組みを尊重しつつ、新しい

- 制度や仕組みが取り入れられるように地域への丁寧な働きかけを継続されたい。
6. 労働安全衛生の観点で更年期休暇の新設を検討されたい。
 7. こども本の森神戸の理念を市内全域に拡げる取り組みに努められたい。また、その際にはこども本の森神戸が体現している場所性、その意味を十分に理解し取り組まれたい。
 8. 協力民間事業者を積極的に開拓し、こども・若者ケアラー支援を充実されたい。
 9. 更生センターを活用した若者への中長期的な伴走型支援に努められたい。
 10. 小学校でのフッ化物洗口の全校展開においては、学校現場に負担とならないよう慎重に進められたい。
 11. 里親等委託の現状と課題を認識し、神戸市の実態に合わせた達成可能な里親委託率を目標値として設定されたい。
 12. クリーンステーションのカラス対策の拡充と、ごみ出しの多言語案内を必要な箇所から整備されたい。
 13. 農業振興においては、農地取得下限面積の撤廃をはじめ、担い手確保の取り組みを積極的に進められたい。
 14. 新産業団地の整備にあたっては、SDGs や脱炭素社会に寄与する観点で取り組まされたい。特に水素関連事業に対応した整備を積極的に進められたい。
 15. 女性消防吏員の採用と活躍できる職場環境を整備されたい。
 16. 水道技術職を継続的に採用されたい。
 17. 市営地下鉄各線の施設における大規模更新やリニューアルに際しては、財政状況を十分考慮し、費用対効果を検証したうえで適切に対応されたい。
 18. 部活動の「K O B E ◆ K A T S U」への移行については、魅力ある仕組みを目指すとともに、途中経過の情報を適宜発信し、市民の理解を得られるよう努められたい。

[つなぐ]

つなぐ神戸市会議員団は、令和5年度各会計決算および関連議案のうち、決算第1号、決算第4号、以上2件の決算については、後ほど述べる理由により認定できません。

また、その他18件の決算については、おおむね適切に執行されているため認定し、さらに第54号議案から第57号議案の4議案については、承認します。

認定に反対する主な理由は次の通りです。

理由

1. 多くの疑問や反対の市民意見がある中、公園という市民の共有財産の一部を、大学誘致のために民間に売り渡し、王子公園再整備基本計画を策定したため。
2. 区役所窓口民間委託問題で、市民サービスや職員のモチベーションの低下を招くなど、多くの課題が明らかになったにもかかわらず、市民課や保険年金医療課の業務委託を全区に広げる計画が中止になった理由を、人件費など委託費の増加だけとしているため。

3. 国民健康保険事業において、一般会計からの法定外繰入を全く行わず、社会保険との格差を是正して払いやすい保険料にしようとしなかったため。

[新しい自民党]

令和5年度神戸市各会計決算20件及び関連議案4件については、いずれもおおむね適正と認め、以下の理由及び要望を付して、認定及び承認いたします。

理由

南海トラフ大地震の近い将来における発生の切迫性が指摘されている中、市民の生命と財産を守るため行政の備えを万全にしなければなりません。

にもかかわらずポートライナー及び六甲ライナーの駅部、橋梁、橋脚等について耐震補強未着手箇所が多く存在していたことが明らかになったため、決算質疑を通じ、わが会派の指摘により、未着手箇所全域に直ちに耐震設計を行い、更には優先順位の高い区間から耐震補強を着手し始めるという、当然すべきであったこととは言え、市民の生命と安全を守る為に最大限の前倒しを図る意向が示されたことは、高く評価いたします。引き続き徹底した取り組みを期待します。

要望事項

1. 他市の事例にも倣い、「ケアライン119」など高齢者・障害者の緊急通報システムの更なる質の向上に取り組まれない。
2. 妙法寺駅など市内の主要駅で、駅前バスロータリーの上屋など、駅前空間の老朽化・劣化が進んでいるため、「リノベーション・神戸」の対象外駅についても、交通局だけでなく市長部局の施策として、「まちの顔」でもある駅前空間を適正に整備されたい。
3. 豊かな海づくりに向けて、処理場における栄養塩増加運転の更なる強化、高度処理設備の早期の運転停止に取り組まれない。
4. 大阪湾奥部の栄養塩の偏在化について、神戸港内など埋立や防波堤などで潮流が停滞し、栄養塩が溜まっている場所が複数あるため、港湾局、建設局、環境局並びに経済観光局等が連携し、こうした箇所の流況改善に取り組まれない。
5. 市内に多数現存している老朽化した大型道路標識について、深刻な事故・被害を防ぐためにも、建替更新を加速化されたい。
6. 劣悪な歯科技工物の氾濫を抑制する観点から、最新の歯科技工所の一覧の公表・作成などの業務を、歯科技工士会に業務委託・業務分担することも含めた更なる連携強化を検討されたい。
7. 水道局の「緊急経営改革」に伴い、垂水センターの閉鎖等を行ったが、大変急激な人員の再編統合であったことも鑑み、職員の勤務環境やモチベーションなどに大きな影響と負荷が出ないように、当局として丁寧なサポートを推進されたい。
8. 劣化が進む神戸空港の駐車場について、空港を利用する市民や観光客が不快な思い

をせず、気持ちよく利用していただけるよう、運営管理事業者任せにせず、適切な維持管理がなされるよう市として責任と当事者意識を以て取り組むこと。

9. 電動アシスト付き自転車の普及などモビリティの多様化に鑑み、子ども達が安心・安全に練習し、交通ルールを学べる「交通公園」を設置し、警察との協力のもと乗り物による事故防止とさらなる交通安全意識の啓発に努められたい。
10. 「送迎の壁」など、家庭の事情により子どもの体験格差が生じないように、習い事の送迎サポートなど、神戸の子ども達の人格形成の支援を拡充されたい。

[無所属（平野（章）委員）]

令和5年度神戸市各会計決算20件及び関連議案4件については、いずれもおおむね適正と認め、認定及び承認いたします。

[無所属（上原委員）]

令和5年度神戸市各会計決算及び関連議案合計24件を下記の理由及び要望10件を付して、認定並びに承認いたします。

理由

令和5年度決算は、個人・法人市民税、固定資産税などの市税が前年度比70億円の増収、および事務事業見直しによる12億円の削減をはじめ「行財政改革方針2025」に基づく取組みを着実に進めたことから、実質収支15億1,400万円という前年度を上回る黒字を確保することができました。ただ全国的に少子高齢化社会が進む中、今後も人口減少が進むことを免れない本市において、さらなる行財政改革を進めるべきであります。市民にとって似通った事業の統合をはじめ、各局事業の効果検証を確実に行う事で、費用対効果という観点と公共サービスの維持という両面から取り組む必要があります。以下要望いたします。

要望事項

1. 行政委員の月額報酬は、実働に合わせた日額制に早期改正すること。その際、時給換算して社会通念上市民理解が得られる報酬にすること。また、委員選任に関しては、公正中立性や専門性を重視し、議員OB枠の妥当性を市民目線に立って見直すこと。変更内容は、広報紙などで市民に周知すること。
2. 市の所有する場所等で違反行為を行い、本市の品格を損なわせる事業者に対しては、市の選定や使用許可取り消しを厳正に実施すること。
3. 市バス事業の収支改善は、さらなる人件費削減に努めるとともに、利用者の不便に繋がる程の減便をしないこと。地域の実情に応じた規模の交通手段であるコミュニティ交通への転換を積極的に進めること。また、需要に応じた最終便延長などを

データに基づく客観的観点から実現することで、ナイトタイムエコノミー推進への寄与も検討すること。

4. 委託・指定管理・入札等の市内事業者選定を促進し、さらなる経済の市内循環に努めること。また、応募が特定事業者に集中しない様、一層の公募の広報に努めること。
5. 三宮駅周辺での客引き・勧誘行為及びそれに伴う公道に立つ行為も含めて、通行人への迷惑防止と景観の観点から、撲滅に向けて県の条例に則り厳格に取締りをする事。
6. 2025 年国際チャーター便運用開始、国内線発着枠拡大に向けて、空港到着から搭乗がスムーズに行えるよう、関西エアポート神戸（株）にも協力を求めて神戸空港駐車場の利便性向上に努めること。
7. 本市の人口流出超過を改善するため、特に若者や子育て世帯が定着、転入する施策を充実させ、動画配信も含めてターゲットに訴求する有効な広報をすること。
8. 児童虐待による重大な事態を未然に防ぐため、警察との情報リアルタイム共有を早期実施すること。
9. フリースクール助成制度を国の動向を待たずに早期導入すること。
10. 合理的でない校則・ルールの見直しを一層促進し、神戸モデル標準服導入に際しても、合理的でないルールを設けないこと。子ども達の「自分で考え選択する力」を育む教育を実践すること。

[無所属（つじ委員）]

令和 5 年度神戸市各会計決算及び関連議案に対し、下記の理由及び要望事項 2 件を付して認定並びに承認いたします。

理由

令和 5 年度神戸市各会計決算は、社会保障関係経費が増加した一方で、景気回復による個人・法人市民税の増加や、「行財政改革方針 2025」に基づく取組みを着実に進めた結果、財源対策によることなく、実質収支の黒字を確保した点を評価いたします。

一方で、超高齢化社会の進展や、長引く物価高騰、自然災害の増加など、本市を取り巻く状況は、ますます厳しさを増しています。今後、財政の健全性を維持しながら、持続可能な神戸経済の成長を実現し、国内外から「選ばれるまち」を目指すためには、着実な行財政改革の推進が不可欠です。また、神戸の魅力をさらに発掘し、発信を強化する取り組みにも大いに期待を寄せつつ、今回の決算を認定し、関連議案については承認いたします。

要望事項

1. 移動販売車は、地域課題の解決やにぎわい創出、経済活性化に加え、災害時には炊き出しなどの機動力を発揮し、食品供給にも貢献できるため、引き続き市内各所で

の出店場所開拓や魅力的な集積拠点の設置、収益性の高い出店場所の確保と認知度向上、さらに支援枠の拡大を含めた支援事業の拡充に努めること。また、にぎわい創出の観点から「まちなかパフォーマンス」との相乗効果も期待できるため、文化スポーツ局との連携による試行を実施すること。

2. 「スマートこうべ」について、閲覧者数やページの利用状況を分析し、「デジタルで、神戸をもっと暮らしやすく。」というコンセプトに基づき、掲載情報の見直しを行い、神戸市が提供するアプリやサイトにスムーズにアクセスできるようにすることで、暮らしやすさを実感できるよう、さらなる利便性向上を目指すこと。また、市内在住の外国人も情報を受け取りやすくするため、多言語対応の整備も併せて検討すること。

[無所属（村上委員）]

令和5年度神戸市各会計決算及び関連議案に対し、下記の理由及び要望事項3件を付して認定並びに承認いたします。

理由

令和5年度神戸市各会計決算は、自動車・高速鉄道事業会計などで引き続きの課題は見られるものの、一般会計については財源対策によることなく実質収支の黒字を確保し、本市の成長への投資と健全な財政運営のバランスがとれたものと評価しております。

要望事項

1. 森林環境税の徴収開始を受けて、県民緑税の用途拡大について今まで以上に強く兵庫県に要望されたい。
2. 医療産業都市の産業化と神戸空港の国際化は、将来の航空貨物の取り扱いに向けて同じビジョンを共有されたい。
3. 兵庫区、長田区における市バス路線の再編によって、市民生活や地域経済にどのような外部不経済が生じているかを分析し、市全体の施策で市民福祉を補完していくという視点で適切に対応されたい。